

「愛」

校長 滝口健二



3年生が巣立ってから2週間余りがたちました。式中、呼名に対するそれぞれの返事には、3年間の思いがこもっているようで、とても心に沁みました。コロナ禍で来賓や在校生の参加もままならない中ではありましたが、壇上で一人一人に卒業証書を手渡すことができたのはとてもよかったですと感じています。ぜひ、緑町中で学んだこと、共に過ごした友達、先生方を誇りに思ってもらいたいと思います。そして故郷であるこの地を「愛」してほしいと思います。

あと2週間もすれば新入生がやってきます。2年生は卒業していった3年生に代わり、最上級生として学校をリードする立場となります。卒業生に負けないリーダーシップを発揮して、緑町中の新たな伝統を築いてほしいと思います。1年生は今年度1年間の緑町中学校での生活を生かして、頼もしい先輩とならねばなりません。新入生は君たちの背中を見ています。素晴らしい姿を見て、必死で追いつこうとします。そんな健気(けなげ)で「愛」らしい新入生に恥ずかしくない姿でありたいですね。

終わりに・・・

1年間を振り返ると、コロナウイルスの猛威が収まらず、様々な制限がある中でしたが、一人一人が緑町中学校の生徒としての自覚と誇りを持ち、まさに変革と向上の緑町を推進してきました。そして伝統を確実に引き継ぎ、さらに発展させることのできた1年だったと実感しています。職員もそうした活動を「愛」情をもって見守り、励まし、後押ししながらサポートしてまいりました。

保護者の皆様、地域の皆様には、この1年間の本校の教育活動を温かく見守り、ご理解、ご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。今後も校訓である「自主 寛容 錬磨」のもと、教職員一同、心を込めて教育活動の充実に努めて参ります。

桜の蕾もほころび始めました。正門前の桜を「愛」でながら、穏やかな気持ちで来年度の準備ができたらいいなと思っています。